

DX推進人材育成（立命館大学共同技術開発研究指導）

1 概要

社内方針のDX化を推進する上で人材育成が必須となる。このため今回の事業にて、立命館大学のDX講座を1年間受講させる（先期センサーに特化し講座を受講した人材が、現在社内DX人材として活躍しておりこの取組を継続させる）。

2 実施内容と成果

大学からの専門的な技術指導を通じ、製造・設計現場における「情報のデジタル化」と「AI・IoTによる自動化・可視化」を推進した。属人的な作業やアナログな管理を排除し、データに基づいた迅速な意思決定と業務効率化を実現できる人材を育成することを目標とし、4つの異なる現場課題において、自社独自のデジタルソリューションを構築・実装する成果を得た。

3 人材育成の取組

専門家の指導の下、AIによる「データ抽出・チェック技術」に取り組んだ。設計部門だけでなく、他の部門業務にも転用が可能であり、全社的なバックオフィス業務の効率化が期待できる。また「センサー・ログデータの自動収集・解析基盤」に取り組んだ。様々な生産設備の故障予兆検知に応用でき、「止まらない工場」の実現に寄与すると期待。今回取り組んだメンバーが各現場でDXの成功事例を作ったことで、他の従業員のデジタル活用に対する心理的ハードルが下がり、現場発信の改善提案が活発化する波及効果が見込まれる。

